

3 月 17 日：流動性の回復ともに続伸

昨日の VN 指数は大型株がまちまちの動きとなり、中小型株で利益確定売りが見られたものの、終日プラス圏で推移した。

ホーチミン市場では、VN 指数は 0.14% 上昇し 1,461.34 ポイントとなった。同指数の上げ幅は直近 3 営業日で 1 % を超えた。

市場は楽観的な雰囲気にも包まれ、240 銘柄が上昇、189 銘柄が下落、81 銘柄が変わらずだった。

しかしながら、時価総額上位 30 銘柄で構成される VN30 指数を見ると、12 銘柄が上昇したのに対し 13 銘柄が下落した。残り 5 銘柄が変わらずだった。

銀行株が引き続き相場を牽引した。VN 指数の上昇に寄与した 10 銘柄の半分は銀行株で、BIDV 銀行(BID)が 4.6% 上昇し、ベッティンバンク(CTG)が 2.2% と続いた。そのほかサイゴンハノイ銀行(SHB)、HD バンク(HDB)がそれぞれ 1.6%、1.3% 上昇するなど、堅調だった。ベトコムバンク(VCB)は高い場面もあったが徐々に値を下げ、引けは 0.6% の上昇だった。

半面、テッコムバンク(TCB)、TP バンク(TPB)、VP バンク(VPB)、サコムバンク (STB) は下落した。またペトロベトナムガス(GAS)、ビンホームズ(VHM)、ホアファットグループ(HPG)、ビナミルク(VNM)、マサングループ (MSN) などの大型株も下落した。

出来高は 7 億 17 百万株、売買代金は 21.4 兆ドン (9 億 31 百万米ドル) と、前日からともに 15% 超増加した。

ベトドラゴン証券のアナリストによれば、VN 指数の上昇にもかかわらず、買い需要はそれほど大きくないようだ。

「デリアティブの決済期限が 3 月 17 日だったことも投資家の心理に影響した。VN 指数は堅調が予想されるものの、1,470 ポイントの抵抗線付近では売り圧力も高まることが予想され、注視する必要があるだろう。」同アナリストはレポートに記している。

ハノイ取引所では、HNX 指数は前日とほぼ変わらずの 446.16 ポイントで引けた。出来高は 1 億 8 百万株、売買代金は 2.7 兆ドンで、それぞれ 30%、14%増加した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。